



- A** 口・・・小さく、細く見える。(両脇に瘤がつかない)
- B** 目・・・出ない。窪まない。(給餌過多、太り過ぎ)
- B~B** 目幅・・・広くなく、適度に狭め。(まれに狭すぎを見る)
- C** 頭・・・肉瘤がでない。(歳をとると出気味になる。全て大きい魚は太くなる。)
- D** えら・・・こけない。捲れない。開放しない。(病気、青水、高温、給餌過多)
- E** 背・・・骨格太く、背幅ある。(盛り上がりすぎない)
E1 の背と頭のつながりは段差なく、なだらかに。
- F** 腹・・・豊かに。後腹が張る。(形が極まると出しにくい)
- G** 尾筒・・・太く締まり、折れがよい。(伸び、詰まり過ぎない)
- H** 金座・・・大きく(裏も)、水平に。
- I** 尾付・・・**N** 尾芯の上下に関する付(立ち、下がり)
M3~M3 尾幅の上下に関する付(山なり、谷なり)
I 前の極めに関する付(尾と親骨との角度)
- J** 親骨・・・尾先は水平。垂直から見て少し下がる。
- K** 反転(袋)・・・大きく包むような余裕。(ベタッと返さない)
- L~L** 渡り・・・A~Nと同じ長さが標準。(まれに勝る血統を見る)
- M** 後・・・水平。尾幅広く、厚みがある。(薄くても素晴らしい魚がある)
M1 後と袋のつながりに余裕がある。
M2 尾の先端のくびれ(朝顔)が大きく華麗。
- N** 尾芯・・・真直ぐ。太く。(口先より一筋に通る)
 前極め・・・親骨のせり出し、押さえ、付きの角度、反転を複合した前に関する極め。
 極め・・・前極め、尾付け極まり方を個々に、または総称。